

長野県子ども・若者支援総合計画（R5～9）（案）について

1 計画のポイント

- ① 急速に進行する**少子化に歯止めをかける** 観点から、「県民の希望をかなえる少子化対策の推進に関する条例」に基づく、初めての行動計画として策定
- ② **公正さや多様性・包摂性** の視点から、新たにヤングケアラー、外国籍の子どもなどについて、計画に位置付け
- ③ **新型コロナウイルス感染症の流行** が、子ども・若者の心身や生活に大きな影響を及ぼしていることを踏まえ、子ども・若者への支援や健全育成を進め、**しあわせを実感できる社会をめざすための計画**として策定
- ④ 計画策定に当たって、中学生、高校生、大学生、若者や子育て世帯から**直接意見を聴く**とともに、県内12,000世帯の子ども・子育て家庭を対象に**アンケート調査を実施** 調査で明らかになった生活困窮度や、教育・進学への影響を踏まえ、**格差や貧困の連鎖の解消** に取り組むとともに、児童虐待の防止、子どもの意見表明・社会参加 など **子どもの権利を保障する**ための計画として策定

本県初の子ども・若者分野の横断的・一体的支援計画として定められた長野県子ども・若者支援総合計画（H30～R4）の次期計画となるもの

2 計画策定の背景

（社会全体の状況）

- ① **少子化の急速な進行**
 - ・未婚化、晩婚化の進行などにより少子化の進行に歯止めがかかっておらず、コロナ禍による出会いの機会の減少、後ろ向きな意識の増加により更に拍車が掛かるおそれ（合計特殊出生率1.56（H29）→1.44（R3））
- ② **貧困の連鎖、格差拡大への懸念**
 - ・コロナ禍は特に生活困窮世帯の暮らしに大きな影響（困窮家庭の約9割が生活が苦しいと回答（R4））。経済的な理由で進学を断念していると回答した困窮家庭の割合は5年前から大幅に増えており（4.8%（H29）→11.8%（R4））、貧困の連鎖が更に進むおそれ
- ③ **新型コロナウイルス感染症の影響**
 - ・コミュニケーションの不安やストレスは子どもたちの心身に影響。また、若者・子育て世代の家事・育児負担や、雇用・収入にも影響を及ぼすおそれ
- ④ **社会におけるデジタル化の急速な進展**
 - ・スマートフォン等の普及が進み、低年齢化も進行（小6年生約6割が利用可能（R4））、インターネット上でのいじめや、ネット依存、ゲーム依存が進むおそれ
- ⑤ **子ども・若者政策を取り巻く変化**
 - ・令和5年4月からこども基本法が施行されるとともに、こども家庭庁が設置。子どもの権利保障や子ども政策の総合的な推進が必要

（子ども・子育て家庭の状況）

- ① **将来の夢や希望**
 - ・将来の夢・なりたい職業が「ある」と答えた子どもは5年前より低下（72.7%（H29）→67.0%（R4））
- ② **生活・教育の状況**
コロナ禍の影響
 - ・新型コロナウイルス感染症の影響による「世帯全体の収入の変化」について、困窮家庭では「減った」との回答が半数以上（54.9%（一般家庭19.3%））となっており、生活格差が更に拡大するおそれ
 - ・授業の理解度については、困窮家庭では「わからない」との回答が半数以上（52.7%（全体30.5%）（R4））となっており、貧困が学習理解にも影響を及ぼしているおそれ
 - ・新型コロナウイルス感染症の拡大による変化として「学校の授業が分からないと感じること」について「増えた」と回答した割合は、一般家庭で19.6%に対し、困窮家庭で35.6%となっており、教育格差が更に拡大するおそれ
- ③ **生活への満足度**
 - ・生活の満足度について、「6～10」（満足度が高い方の回答）に該当する割合は、一般家庭では79.0%に対し、困窮家庭で63.8%となっており、困窮家庭ほど満足度が低い状況

3 基本目標

夢や希望がかなう、笑顔あふれる未来の実現

「夢や希望がかなう」 ・誰もが夢や希望を持ち、挑戦できるとともに、かなえることができるように、社会全体で応援
「笑顔あふれる未来の実現」 ・豊かな社会の中で、しあわせを実感できることで、子ども・若者の笑顔を実現

4 施策の展開

I 結婚、妊娠・出産、子育ての希望が実現できる社会づくり

項目	主な施策
1 就業の支援	学生インターンシップの支援、ジョブカフェ信州での就労支援、各学校での人材育成 など
2 結婚の支援	広域的な出会いの機会の創出、結婚マッチングシステム利用拡大 など
3 妊娠、出産及び子育ての支援	妊活検診・不妊治療への支援、子育ての医療・教育費負担の軽減、子育て支援の財源検討 など
4 職場環境の整備	認証制度等を活用した女性や若者が働きやすい職場づくりの推進 など
5 ライフデザイン教育の推進	結婚、出産、子育てを主体的に考えるライフデザイン教育の推進 など
6 地域の特性を生かした取組等	移住促進、奨学金返還支援企業への支援、信州やまほいくや信州自然留学（山村留学）の推進など
7 社会全体の気運醸成	結婚や子育てを応援するパスポートの展開、ポータルサイトでの支援情報の一元的発信など

II 誰でも夢や希望を抱きチャレンジできる社会づくり

1 子どもの貧困対策	孤立防止に向けた居場所づくり・相談支援、経済的困窮世帯の子どもに対する学習・生活支援 など
2 家庭での養育に困難を抱える子どもの支援	市町村、児童福祉施設等との連携による相談・支援体制構築 など
3 いじめへの対応・不登校児童生徒の支援	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーによる相談・支援体制の強化 信州型フリースクールの検討と展開 など
4 ニート・ひきこもりの支援	困難を抱える若者の社会的自立に向けた支援、ひきこもり支援センターによる相談支援など
5 障がいのある子どもの支援	障がいのありなしにかかわらず、共に学び合う教育の推進 など
6 発達障がいの支援	発達障がい者支援センターにおける相談、人材育成支援 など
7 医療的な配慮を必要とする子どもの支援	医療的ケア児等支援センターにおける相談、支援人材育成 など
8 子ども・若者のいのちを支える	自殺対策の強化（子どもの自殺危機対応チームの支援体制の強化等）など
9 特に配慮が必要な子どもの支援	ヤングケアラー・性的マイノリティ・外国籍の子どもへの支援、予期せぬ妊娠への支援など

III 健やかに成長、自立できる社会づくり

1 幼児教育の推進	信州幼児教育支援センターによる保育・幼児教育の質の向上 など
2 心身の健康の基盤づくり	部活動地域移行を見据えた地域との連携によるスポーツ機会の確保、食育活動の促進 など
3 青少年の健全育成	子ども若者の意見表明機会の確保・社会参加の促進、インターネット適正利用の取組の推進 など
4 子どもの性被害防止	「子どもの性被害防止教育キャラバン隊」の派遣、性被害防止の研修会開催の支援 など